

日程 2027年8月20日（金）～22日（日） 会場 リンクステーションホール青森

第60回 全国手話通訳問題研究集会

サマーフォーラム in あおもり

通報
第1号

2027年の夏は 青森さ来いへ～

2027年8月20日（金）～22日（日）、第60回全国手話通訳問題研究集会
～サマーフォーラム in あおもり～を青森市で開催いたします。青森県は、津軽と南部という
二つの文化圏が長い歴史の中でそれぞれの風土を育み、豊かな多様性を形づくってきました。
津軽には、ねぶた祭の熱気、津軽三味線の力強い音色、厳しい冬を越えてきた人々の生活文化
が息づき、南部には、南部藩の歴史、南部せんべいに代表される素朴で温かい食文化、山と海
に寄り添う暮らしが今も大切に受け継がれています。こうした文化の違いは、青森の魅力であ
ると同時に、互いを理解し合い、尊重し合うことで新しい価値を生み出してきた歴史でもあります。

津軽と南部が交流し、対話を重ねてきた歩みは、まさに多様な立場の人々が協働する手話・ろ
う者支援の世界にも通じるものです。今回の大会では、青森の文化が育んできた「違いを認め
合い、つながりを深める力」を全国の仲間と共有し、新たな学びと出会いを生み出す場にして
いきたいと考えています。節目となる第60回大会を青森で迎えるにあたり、実行委員会一同、
誰もが安心して参加できる大会となるよう準備を進めています。

青森の自然、文化、そして人の温かさを感じながら、全国の皆さまと共に新しい一歩を踏み出
せることを心より楽しみにしています。



実行委員長 阿保 和久

第60回全国手話通訳問題研究集会 ～サマーフォーラムinあおもり～実行委員会 事務局

〒030-0944 青森県青森市大字筒井字八ツ橋76-9 一般社団法人 青森県ろうあ協会内

E-mail 60sf.aomori@gmail.com

Instagram始めました(^_-) ☆





弘前城の桜

ひろさき

「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」にも選ばれた。ライトアップされた夜桜も幻想的。ソメイヨシノを中心に、シダレザクラ、八重桜など、約50種類、2600本程の桜が植えられている。

「日本の道100選」に選ばれた官庁街通りは、十和田市のシンボルロード。街中がやわらかなピンク色に染まり、松のグリーンがより一層桜の美しさを引き立てる。

十和田市 官庁街通りの桜 田んぼアート

7色の稲を絵具代わりに巨大な絵を描く田んぼアート。田舎館村が発祥の地とされている。毎年異なるテーマの作品が描かれ、その年ならではのアートが楽しめるのも大きな魅力。



春秋



青森の四季

「八甲田ロープウェー」では、10月上旬から中旬までブナ・ナラ・カエデ・ナナカマドなどの木々が色付く風景を360度パノラマで満喫できる。

はっこうださん 八甲田山

八戸市 燕島

はちのへし かぶしま

燕島は、天然記念物のうみねこの繁殖地として有名。毎年3月中旬頃には南方から数万羽のうみねこが飛来し産卵する。ウミネコ繁殖地として、国の天然記念物に指定されている。



夏冬



毎年8月2日～7日に開催。あかりの灯った色鮮やかなねぶたは最大幅約9m、高さ約5m、奥行き約8m、重さ約4t。笛・手振り鉦・太鼓のねぶた囃子と「ラッセラー、ラッセラー！」の掛け声が見るものすべてを圧倒させ、東北の夏を彩る祭り。

青森ねぶた祭り 高山稲荷神社

千本鳥居がある稲荷神社というところ京都の「伏見稲荷大社」が有名。実は、つがる市にも「高山稲荷神社」がある。朱色の鳥居が数え切れないほど並び、異世界のような不思議な空間を創出している。



下北郡東通村尻屋崎周辺に放牧されている馬。厳しい冬にも耐えられるたくましい体格の馬。足が短く胴が長く、ずんぐりしている。寒立馬及びその生息地は青森県の天然記念物に指定されている。

かんだちめ 寒立馬